

西暦 2025 年 4 月 30 日

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報の公開について

当センターでは、下記の研究を実施しております。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、研究対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、情報を公開することにより実施しております。この研究に関するお問い合わせ、研究参加への拒否依頼などがありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

研究機関名	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター
研究課題名	重度の先天性眼瞼下垂症に対する新しい手術術式の検討
研究代表者 氏名・所属部署	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 形成外科 白石 万紀子
研究対象者 (研究対象者等が自身が対象者であると容易に知り得るように記載)	2022 年 11 月から 2025 年 3 月までに先天性眼瞼下垂症に対して前頭筋機能を利用した眼瞼下垂症手術を受けた方が対象となります。
研究期間	研究実施許可後～2027 年 3 月
研究目的・方法 (意義、目的、方法、試料等の二次利用等)	意義 先天性眼瞼下垂症では上眼瞼挙筋の機能不全を認め、上眼瞼挙筋機能が乏しい患者の手術治療法としては、筋膜や人工物を介在物として用いた前頭筋吊り上げ術が一般的です。しかし、これらの方法では自家組織採取に伴う侵襲や、人工物を用いることによる問題が生じ得ます。この問題点を改善するため、当科では上眼瞼に存在する筋膜を使用して眼瞼を挙上する手術治療を行っています。 目的 手術後の経過を検討し、挙筋機能が乏しい先天性眼瞼下垂症例における有効性を明らかにすること。 方法 上記対象者の診療録を基に、治療前の状態から治療後の経過を後方視的に検討します。 将来、今回の研究を基に新たな研究を行う場合、改めて倫理審査申請を行います。
研究に用いられる試料・情報の項目や種類	診療録の情報（年齢、性別、術前後の眼瞼下垂症の状態（開瞼閉瞼状態の測定値、目元の写真）、手術記録、手術後の合併症の有無など）を使用します。 個人が特定できる情報は匿名化して扱います。
研究計画書などの研究関連資料の入手方法、または閲覧方法	本研究の研究対象者(等)が、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手または閲覧をご希望される場合、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で入手、または閲覧ができます。下記の間合せ先までご連絡ください。

個人情報の開示に係る手続き	本研究の研究対象者(等)から、個人情報の開示の求めがあった場合、保有する個人情報のうちその本人に関するものに限って、地方独立行政法人大阪府立病院機構 個人情報の取扱及び管理に関する規程に基づいて、開示手続きをとりますので、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。
照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター 形成外科 白石万紀子 電話 0725-56-1220 (代表)